



Ryokuenn_toshi Community Association

緑園都市コミュニティ協会

緑園都市住宅地について

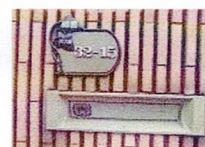
緑園都市は東京から 35 km 圏、横浜市西部地域を走る相模鉄道いずみ野線（二俣川～湘南台）緑園都市駅を中心とした開発総面積 122 万 3 千 3 m²、計画人口 1 万 8 千、計画戸数 4738（一戸建住宅 2834 戸、マンション 1761 戸、その他 143 戸）として 1974 年区画整理事業方式により開発され、1986 年 11 月から販売開始された住宅地です。住宅地の周辺は大池自然公園、戸塚カントリークラブなどに囲まれており閑静な住宅地となっています。2013 年 5 月現在総世帯数 5793、人口 14,590 名となっています。

街を南北に貫く都市計画道路（中田～さちが丘線）を基幹道路として、駅前広場を中心に主要道路が機能的に配置されており、幹線および準幹線道路には電柱の地中化が施されています。住宅地内は安全を確保するために、クルトザック（袋小路）やループターン（輪状の道路）が採用され、景観や安全に配慮された街づくりとなっています。

緑園都市のアーバンデザインのシンボルとして「ツタ」（茎や葉の成長過程をイメージ）が採用されており、絵タイルとして住居表示板、玄関先、駅ホーム、歩道などのサインに用いられています。

緑園都市の街づくりの基本テーマは「人間性を追及した豊かな街づくり」で、ヨコハマらしさ＝清楚なセンスの良さ、を感じさせる街づくりを目標としました。

このテーマを具体化させるため、街全体を「会員制高級リゾートホテル」に見立てて、駅はホテルのエントランス・ロビー・フロント、歩行者専用道路は客用通路と位置付け、クラブハウスなどの集会施設はラウンジ、文化会館・スポーツ施設はリゾート施設、商業施設はアーケードという考え方に立ち作られています。



緑園都市駅（出典：ウィキペディア フリー百科事典）

緑園都市駅は、神奈川県横浜市泉区緑園3丁目にある、相模鉄道いずみ野線の駅である。

歴史

- 1976年（昭和51年）4月開業。当時の所在地は戸塚区岡津町であった。
- 1986年（昭和61年）11月に泉区が発足し、所在地は泉区緑園に変わった。
- 2014年（平成26年）4月ダイヤ改正により特急が運用開始。通過駅となる。
- 2019年（令和元年）11月 JR線との相互直通運転開始に伴うダイヤ改正で新たに通勤急行の運転が開始され停車駅となる。同時に導入された通勤特急は通過駅に。
- 2023年（令和5年）1月ホームドアの使用を開始。

駅名の由来

緑あふれる快適な街をイメージして、「緑園都市」と名付けられている。なお計画当時における仮称は、宇名に由来した「子易」（こやす）であった。子易は川や公園などの名前としてわずかに残っている。

利用状況

2022年度の1日平均乗降人員は20,225人である。相模鉄道全27駅の中で第17位である。緑園、池ノ谷、新橋町、岡津町などの他戸塚区名瀬町西部に隣接しており同地域も駅勢圏となっている。いずみ野線内で特急・通勤特急通過駅の中では最多の利用者数であり、同線内の特急・通勤特急停車駅のいずみ野駅よりも利用客が多い。

主な周辺施設

- 相鉄ライフ そうてつローゼン緑園都市店その他店舗
- フェリス女学院大学 緑園キャンパス
- 相鉄文化会館 旧・相鉄ギャラリー（4階・2014年3月閉館）
相模鉄道株式会社 緑園都市教習所 電車の運転士養成機関
- こども自然公園（通称：大池公園）



改札口



フェリス女学院大学緑園キャンパス



こども自然公園